

# 寺崎組新聞

第九十六号

## いわき林道グルグル野宿塾

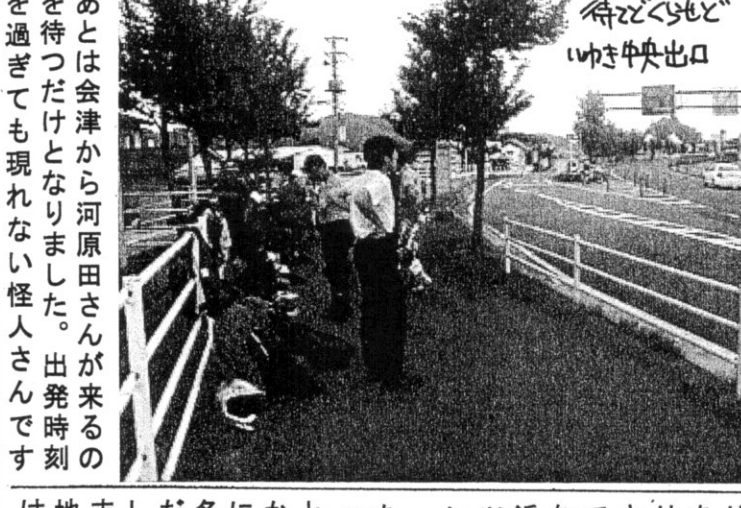


第128回組会報告

### 第一日目

2009年夏の東北組会是一年ぶりの無沙汰、仙台在住のFM佐藤が前半のレポートをします。  
今回の参加者は組長KTM1L4E、地下鉄KTM450EXC、ゴ三浦なんちゃってDR、三浦2号XR650、金子3号KTM450EXC、会津の怪人XRバハ、地元三倉XR250、FM佐藤ジェベルでした。

集合場所のいわき中央インター入口近くにあったコンビニで昼食を仕入れて、すでに地下鉄さんが来ていて、続いてゴ三浦さん、金子3号さんも登場。変わらぬ顔ぶれに安心しました。集合場所へ戻ると程なく三浦2号さん、お宅からここまで二十分弱という三倉さん、そして組長も到着し、それぞれ昼食やバイク談義に華を咲かせているところ。



「対向車線に真新しいバイクのわだちがあったねえ。これ今ほくらが走ってきたものだよ。」  
と、言われて初めて同じ林道をいつしか逆走していたことがわかり、まさに「いわき林道グルグル野宿塾」の名前通りのツーリングをしていたのだなと実感しました。三倉さんが出した地図を見ても全く実感がつかめません。もちろん私が持参した分県地図も役立たずです。いわきの林道は奥が深いな、あなどれないなと感じました。唯一、風呂または給水のたけの川が少なくて残念。そして息を呑むような景色に近しい野宿もできるし、いいエリアです。

地下鉄さんの豪勢なさしみが回ってきたり、いつもながら宴会料理は飽きません。おなかもいっぱいになります。金子さんの地酒も大人気です。痛風なのにお酒をがんがんで飲んでいる三浦2号さんはいったって楽しそうです。みなさんのお話もまた聞いて飽きません。一番の話題はやはり怪人さんの遅刻理由で、たまにアベさんが幸せらしいとか、野村さんがどこかを走っているとかが話でますが、最終的には怪人さんが駄洒落でまとめ、だれかから遅刻をつつかれて、またハッハッハと笑う怪人さんのほほえましい、すべてがゆったりのスローライフな方です。本人はけっこう大変でしょうが、話が盛り上がったところから雨が降ってきた。屋根無しで空から雨が降る。屋根無しで雨を降らされた。そのたびに退散しては、雨が上がりたまに車座になり、また退散。何度か繰り返しているうちにいよいよ本降り。名残惜しかったけど私もテントへ入って爆睡しました。



夕方、ぐるぐる林道を巡って行き止まり林道に入り、野宿宴会へシフトします。テントを張ってマットと調理用具、食材とお酒を並べて車座に陣取り、乾杯と野宿地への感謝を捧げたらあとは一気に宴会へ。ときおり同じ料理が回ってきたり(何人かの組員が同じ見切り品を買ったりする)、育ちすぎた組長宅のきゆうりがどーんと回ってきたり、

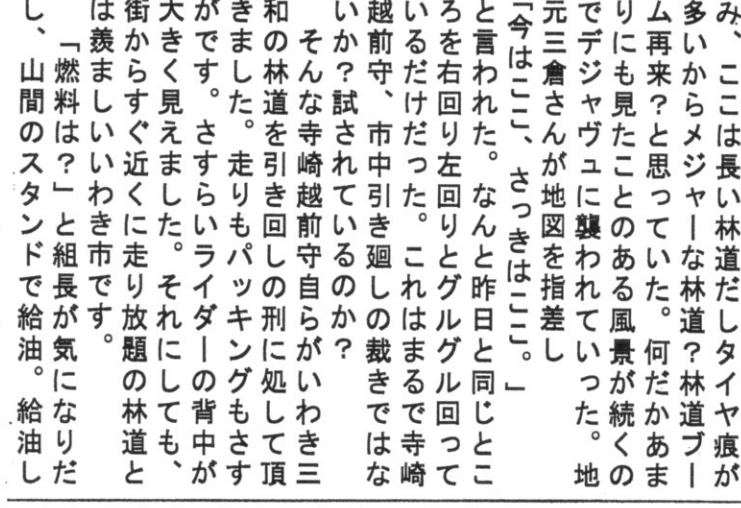


Two and Four ツーアンドフォー  
Muramatsu Tadashi 何でも相談下さい  
〒495-0006 浜松市東区下石田町1665-3  
TEL053-422-7535 FAX053-422-7578  
twoandfour@rc.biglobe.ne.jp  
水曜日に、15時〜21時、バイク、カメラ、カメラなど、何でも相談下さい。

### 第二日目

二日目は、オラ、金子3号が報告いたします。  
帰宅組が名乗りを上げてます。明日は仕事なのだというFM佐藤さんは屋敷に火気類を出さず、手軽にパンを自前の太鼓つ腹に押し込み、仙台までブルジョアハイウェイで帰路に。母上様の介護をしないと手当てが切れるのだと、真剣に語った会津の怪人さんは前日に買い過ぎであるう食材を豪快にまんずまんずとたいらげて分かれた。本日合流者はおらず、8名だった組会は6名になった。残った一行は、組長の優しい案内で果てしなく続く林道を進み、ここは長い林道だしタイヤ痕が多いからメジャーな林道？林道ブルム再来？と思っていた。何だかあまりにも見たことのある風景が続くのでデジャヴに襲われていった。地元三倉さんが地図を指差し「今はここ、さっきはここ。」  
と言われた。なんと昨日と同じところを右回り左回りとグルグル回っているだけだった。これはまるで寺崎越前守、市中引き廻しの裁きではないか？試されているのか？  
そんな寺崎越前守自らがいわき三和の林道を引き回しの刑に処して頂きました。走りもパッキングもさすがです。さすがらいライターの背中が大きく見えました。それにしても、街からすぐ近くに走り放題の林道とは羨ましいいわき市です。  
「燃料は？」と組長が気になりだし、山間のスタンドで給油。給油し

た途端店はシャッターを下ろした。どうやらまたまた開いていただけのようだった。再びメビウスの輪の如く、終わりの無いグルグル林道を楽しみ、買出しに里へ下りる途中、地下鉄さんがKTM450EXCを左に倒す。コケたのではなく、ビックタンクの予備燃料を右から左に移す行為だ。先ほど給油しなかったのか？再スタートしたが下界は遥か先だ。途中もう一度、街に出てスーパは無かった。炎天下で単車を押す行為は地獄だ。と、ゴ三浦さんのタンクから組長が酒瓶に燃料を移して渡そうとしたが、目もくれず押しに行く。若き三倉さんがブーツスタイルで走って追いかけたがゲージを言って帰って来たのは三倉さんだった。考えてみれば、地下鉄さんはマラソンランナーだったんだと。三倉さんご苦労様でした。地下鉄さんは帰るなり「このタンク、カタログ表示と違う！14リットル書いてあったのに11リットルしか入らねえ」ととテンションが高い。買出し後、今日は風呂付か？と尋ねられ、みんな「はい」と。



「はあ」と。枯れてなきやあそこだなと見当をつける組長と出発。時より雨に当たりながらR49を郡山方面に、三和ICから10km位で二車線を右に跨いだところから林道だった。ここは始めての林道だが、寺崎越前守は甘くは無かった。藪漕ぎです。地面が見えませんが(みんなは見えていたのかな？)前のテールランプが頼りでした。抜けて間もなく大木の葉で雨が激げ野営地に到着。風呂も沸いていました(笑)。時より、トトロの悪戯で大きな雨粒が落ちてきますが、設置後の風呂はいい湯加減で汗を流してさっぱりしました。風呂から戻ったらタープ設置の最中、これで矢でも鉄砲でも持って来いの万全の備えです。  
「ほらほらとりあえず、とりあえず」と組長の号令の下、二日目の宴が始まりました。マグロの刺身、乾物、出来合い物が即攻で回り、組長の「みずすのトーフミール」が回って来ました。おからの様なそばがきの様な、フワフワした食感。初めて食べました。これは松本で生産してあります。オラのサラダは量が多く三割が返却。ではと、オージービーのチョコパンスハーフ風オリーブオイル焼きは売れました。ちよっと



